

# 平成29年度 学校経営方針

## 校訓

明るく 仲よく たくましく

「さいたま市学校教育ビジョン」  
知・徳・体・コミュニケーション

## めざす児童像

- ・希望をもち進んで学び続ける子
- ・思いやりのある子
- ・進んで運動する子
- ・笑顔で挨拶ができる子
- ・しっかり聞き、よく考える子
- ・人や命を大切にする子
- ・心も体も元気な子
- ・4つの言葉で気持ちを伝える子
- ・自分の言葉で表現できる子
- ・時を守り、場を清め、礼を正す子
- ・最後まであきらめない子
- ・認め合い協力し合う子

## 教育目標

豊かな明日の創造をめざし、いきいきと活動する児童の育成

## めざす学校像

### ○ 明るく、活気のある学校

- ・明るく、気持ちのよい挨拶が交わされる学校
- ・認め合い、励まし合い、高め合う学校

### ○ 美しい環境で、仲よく学べる学校

- ・学校環境が美しく整えられ、安心して安全な学校
- ・分かる授業を実践し、一人一人の子どもが成就感や存在感を実感でき、仲よく学べる学校

### ○ 保護者・地域に信頼される学校

- ・保護者や地域の方々が道祖土小学校に通わせてよかったと実感できる学校
- ・子ども、保護者、地域の声を大切に受け止め、誠意をもって誠実に対応する学校

## めざす教師像

### ○ 子どもに愛情を注ぐ教師

- ・子ども一人ひとりの人格を尊重し、その子らしさを認め、励ます教師
- ・その子の言動の背景にある思いや問題等を見抜き、その子の心に寄り添い働きかける教師

### ○ 信頼される教師

- ・常に学び続け、行動や言葉遣いなど、子どもの範となつて、望ましい大人の姿を示す教師
- ・教育のプロとしての誇りをもち、豊かな専門性と実践力を備え、学習の楽しさが実感できる授業を実践する教師
- ・教育への情熱と人間味あるふれあいを通して、児童・保護者・地域の人と心を通わせる教師
- ・いじめや体罰・暴言を許さない教師

## 本年度の重点目標と方策

### 1 基礎的・基本的事項の確実な定着と主体的な学習態度の育成

- (1) チームティーチングや少人数指導を充実させ、子ども一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を展開し、学習する楽しさが実感できる授業を実践する。
- (2) 学習規律を徹底し、集中力と共同性を高め、学び合い高め合う学習集団を育成する。
- (3) 問題解決的な学習や体験的な学習、言語活動の充実を図り、創意工夫する態度や自ら学び考え判断し表現する能力を伸ばす。
- (4) 読書活動の活性化を図り、望ましい読書習慣を確立する。
- (5) ICT（情報通信技術）を効果的に活用した情報教育の推進と、コミュニケーションを大切にした「グローバルスタディ科」の円滑な実施を図る。

## 2 豊かな心を育てる教育の推進

- (1) 道徳教育、道徳の時間の充実を図り、道徳的実践力や道徳的態度を育てる。
- (2) 「希望あふれる学校づくり」や「いじめ撲滅運動」の推進と人権教育の充実を図る。
- (3) 「いのちの支え合いを学ぶ授業」や青少年赤十字活動などを通して、生命尊重やボランティアの心を育てる。
- (4) 学校・学年行事等の事前・事後指導を工夫し、望ましい集団活動を通して、達成感が味わえる教育活動を展開する。

## 3 体力の向上と健康教育、安全教育の推進

- (1) スポーツテストの結果を踏まえ、運動量の確保と運動の質の向上を図り、楽しく運動し、できる喜びや伸びる喜びが実感できる体育の授業を実践する。
- (2) 記録会などの取組や運動施設などを工夫整備し、運動に親しむ環境をつくる。
- (3) 「むし歯ゼロ」運動を徹底するとともに、食育や生活習慣病予防などを推進して、健康に対する意識を高め、実践的な態度を育てる。
- (4) 施設設備や通学路等の不断の点検・整備、登下校時の見守りに努め、安心・安全な学校生活を確保する。
- (5) 多様な訓練を実施して危機意識を高め、災害時等の状況に応じた適切な対応能力を養う。

## 4 児童理解と生徒指導の充実

- (1) 時を守り、場を清め、礼を正す」を実践し、社会に生きる人としての基盤をつくる。基本的な生活習慣の徹底を図り、社会規範意識を育てる。
- (2) 子ども一人ひとりの人格を尊重し、その子らしさを認め、励ます指導を基本にして温かい人間関係を築く学級経営を推進する。
- (3) 教育相談的手法を積極的に取り入れ、子ども一人ひとりに目をかけ、声かけ、手をかけて、応援し、成功体験を通して健全な自尊感情を育む。
- (4) 子ども一人ひとりの変化を見抜き、報告・連絡・相談・見届けを徹底し、スクールカウンセラーやさわやか相談員、スクールソーシャルワーカー等と連携し、いじめ、虐待、不登校、問題行動等の早期発見と緊急対策チームによる迅速適切な対応に努める。

## 5 家庭・地域との連携と郷土を愛する心の育成

- (1) 学校経営方針の説明会や授業公開の実施、学校 Web ページや学校だよりの活用など、教育活動の様子など、保護者や地域に対して積極的に情報発信する。
- (2) 地域の奉仕活動やスポーツ・文化活動等へ積極的に参加・協力するとともに、郷土の伝承文化や伝統行事を大切にしたい教育活動を推進する。
- (3) 学校ボランティア活動や読み聞かせ等、地域の人材や教育力を積極的に取り入れた教育活動を展開する。
- (4) 様々な行事等を通して、学校を支えてくださっている地域の方々への感謝の気持ちと、地域の一員としての自覚を育てる。
- (5) 家庭や地域と協力して、スクールサポートネットワーク（SSN）やチャレンジスクールの推進と防犯・防災体制の充実、教育環境の整備を図る。

## 6 子どもを守り育てる“チーム道祖土小”としての学校組織・運営

- (1) 校内研修を推進し、教育者としての資質・能力の向上と授業改善を図り、保護者や地域の信託に応える質の高い教育の実践を目指す。
- (2) 学校評価及び保護者・地域の声を学校の組織運営に反映させ、校務分掌組織や教育活動を不断に見直し改善を図るとともに、教職員一人ひとりの経験や発想、特技や能力を生かし、活力ある学校運営を推進する。
- (3) 教職員相互の信頼関係と協働性を重視し、「報告・連絡・相談・見届け」を徹底して、様々な危機や課題を乗り越える基礎体力と機動力のある教職員チームをつくる。
- (4) 「迅速・誠実・アフターケア」をモットーに、誠意と心遣いが感じられる対応を通して、保護者・地域、関係機関等との良好な信頼関係の継続・発展に努める。
- (5) 倫理確立委員会、セクハラ防止委員会等を通して、服務規律を確保し、教育公務員としての自覚と道祖土小学校教職員としての誇りをもって校務を遂行する。